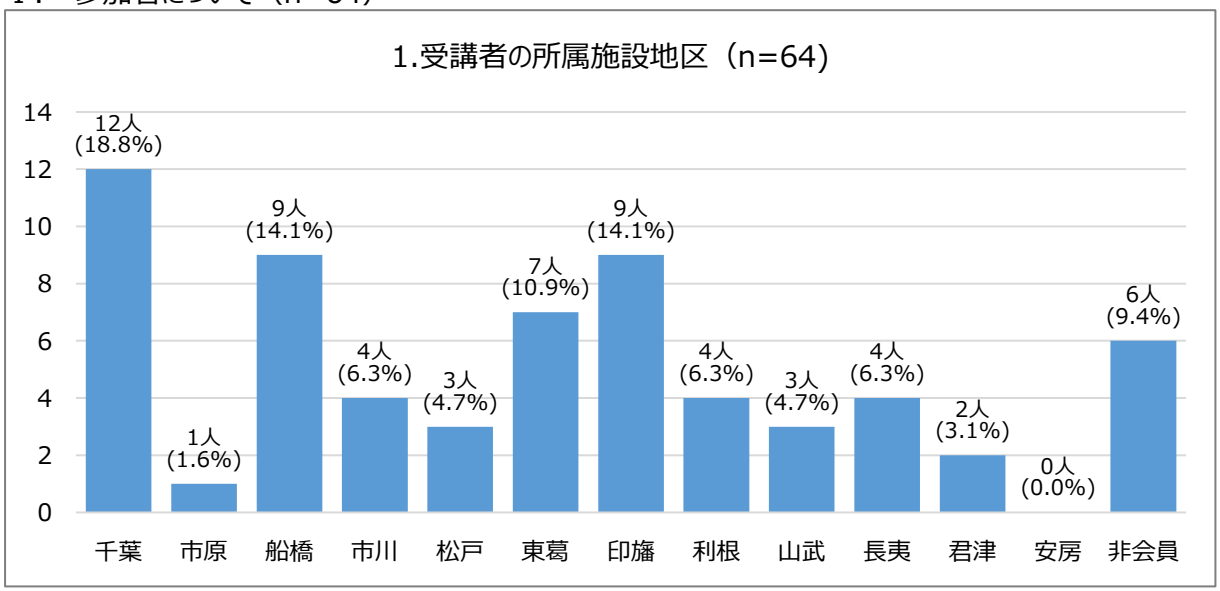
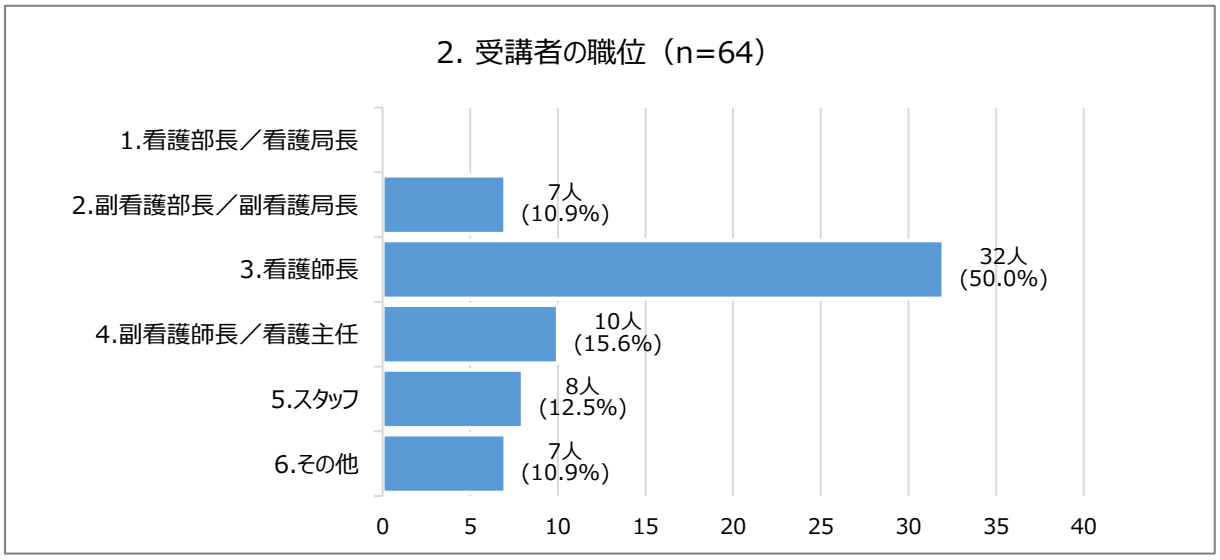
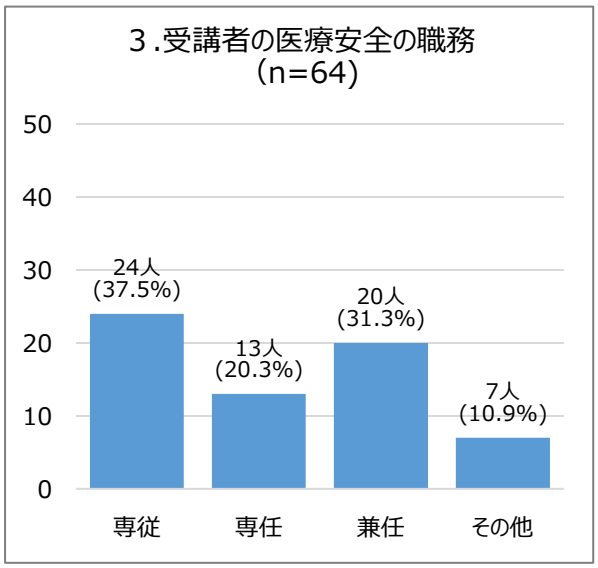
令和８年度　医療安全担当者中央交流会　アンケート

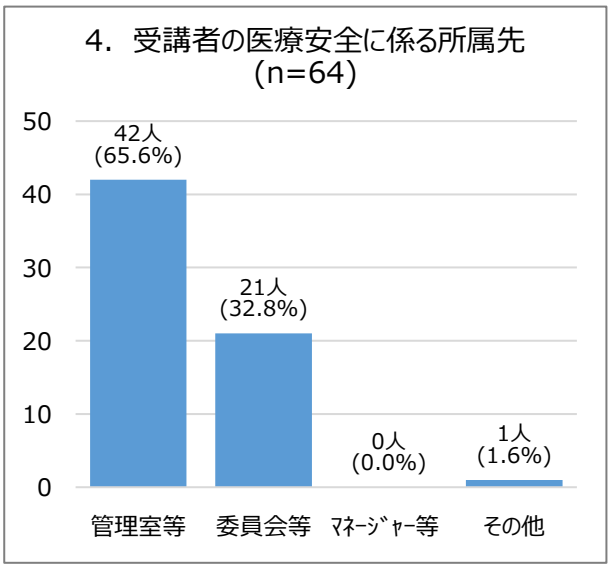
- 参加者 64 名（申込 75 名、キャンセル 7 名、欠席 4 名　、当日参加 0 名）
- アンケート回答者 54 名（回答率 84.4%）

Ⅰ．　参加者について（n=64）



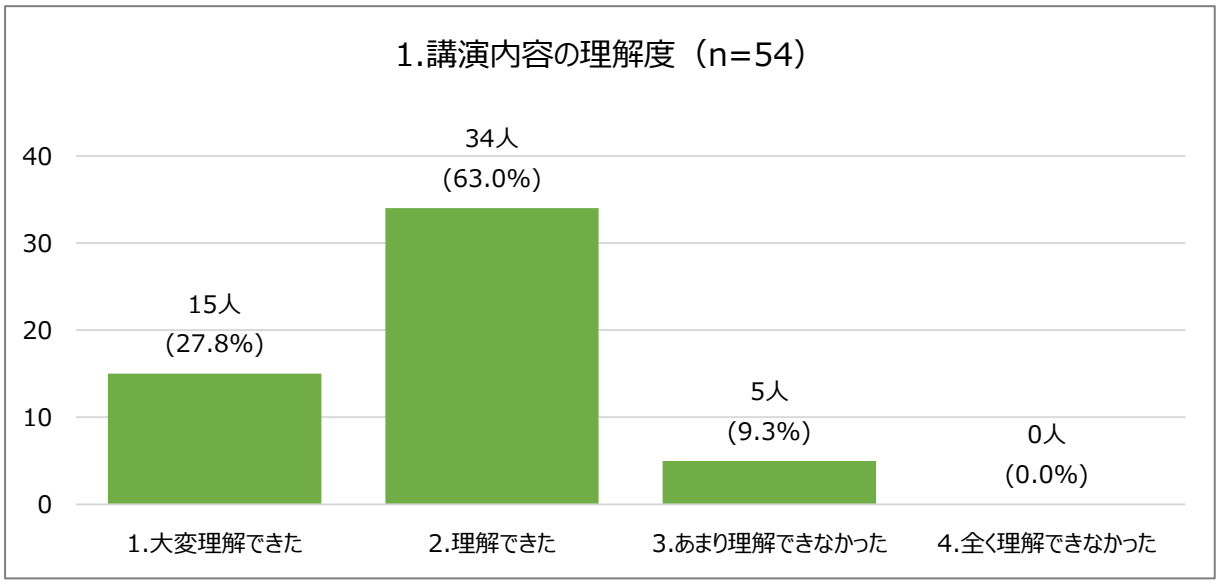


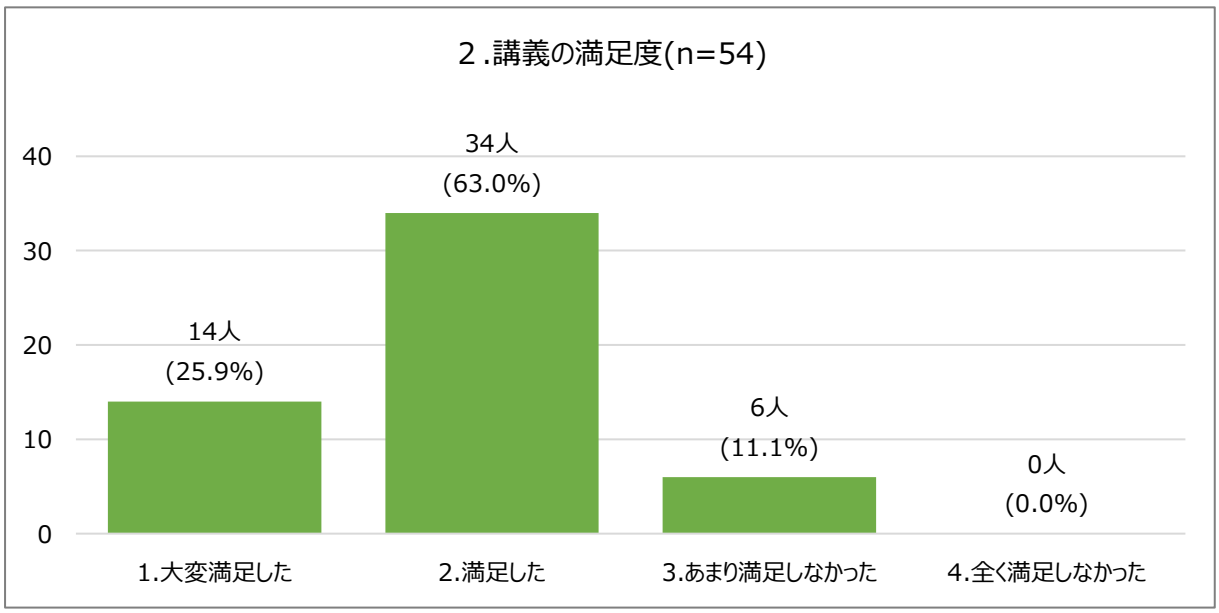


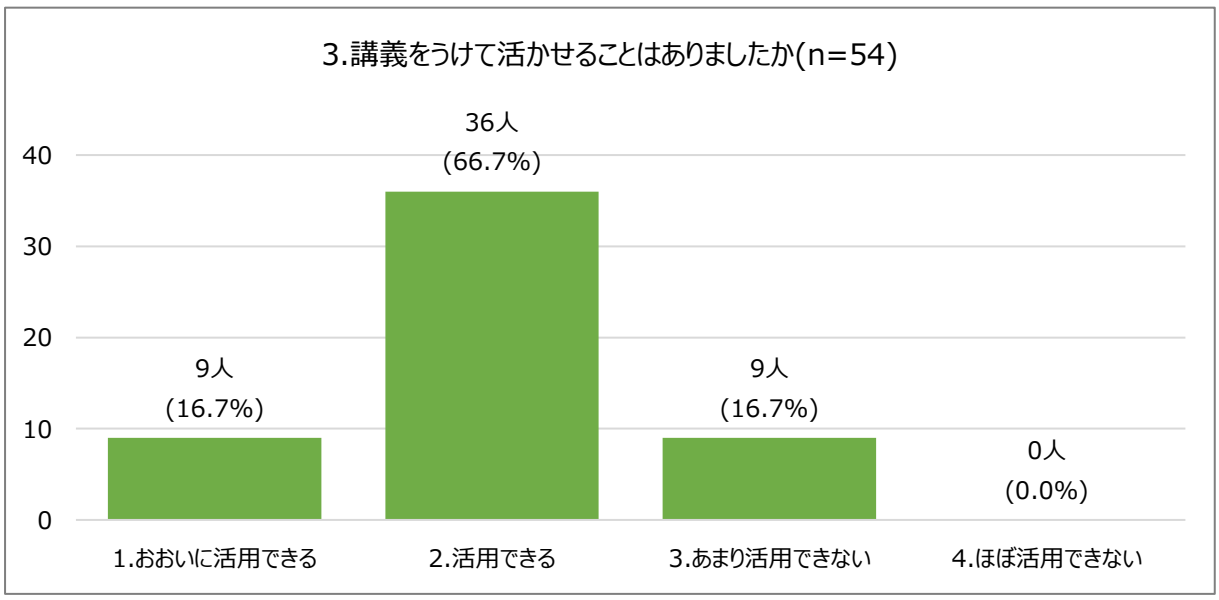


Ⅱ．講演について「医療安全の視界 1999 – 2026」

講師：橋本 廸生 公益財団法人 日本医療機能評価機構 常務理事







4.講義についてご意見・ご感想

1） 医療安全に対する考え方・新たな視点や気づき

(1) 他職種との連携、医療の安全のためにも、インシデントの原因の改善をしないといけない。病院組織としての基本姿勢、取り組みを今一度考えるきっかけとなりました。看護は、患者の全体を見る。

(2) 四半世紀にわたり、我が国の医療安全を先導してこられた橋本先生のご経験をもってしても、未だ「医療は安全になったのか？」→ 「答えをもちあわせていない。」 結局はシステムのどこに問題があったのかをその都度振り返り、地道に継続するしかないのだと感じました。

(3) 講義は、違う角度で考える機会となった。興味深く受講できました。

(4) 橋本先生の講義であった「それで、医療は安全になったのですか」が、非常に深く、重く、考えさせられるものでした。答えは見つかりませんが、自分自身を内省しながら、考えていきます。

(5) 患者の全体像をみる。トータルとしてどんなケアをされるべきだってのかを考えるという先生のお言葉が印象的でした。

(6) 医療安全の考え方について、先生のご意見は参考になった。いろいろな意見を聞いて、多角的に考えていきたい。

(7) 医療安全に関することを他の講師とは違う視点から解説いただき、改めて感ずることがあった。

(8) 違う視点からの医療安全が考えられて面白い講義でした。

(9) インシデントの原因をうっかりミスや忙しさのせいにしては問題解決に繋がらないことを、あらためて感じた。

(10) Safety1 や Safety2 の話、ノンテクニカルスキルの話など、疑問に思っていたことを、講師の先生も感じていたと知って、ちょっと安心しました。

(11) 【コスメティックコンプライアンス】に大いに頷けたとともに、懸念しております。創造的な教育と、異論を大事にしていくことを学べました。有難うございました。

(12) 他の施設の状況をしることができ、参考になりました。

2） 実践への活用・組織や人材育成への意識

(13) 特に印象に残っていることは、医学生に対する医療安全の教育内容についてです。(最近医学部を卒業した)医師がどのような教育を受けてきているのか知ることで、働きかけ方のヒントになりました。

(14) 患者の安全だけでなく、私達の安全保証も大切であることを日頃から働きかけていかなければと痛感した。　また、他職種連携を求められていても、つい看護部は「看護部内で…」と言うと話していましたが、まさに私達だ！と、閉鎖的になってしまっていることを痛感し、報告書に今後の対策に上げました。

(15) 医療安全の歴史は理解できました。実践につなげるよう考えたいと思います。機能評価の先生でしたので、その視点で、現実的な話が聞きたかったです。

(16) ロールモデルを作り育成したいと思いました

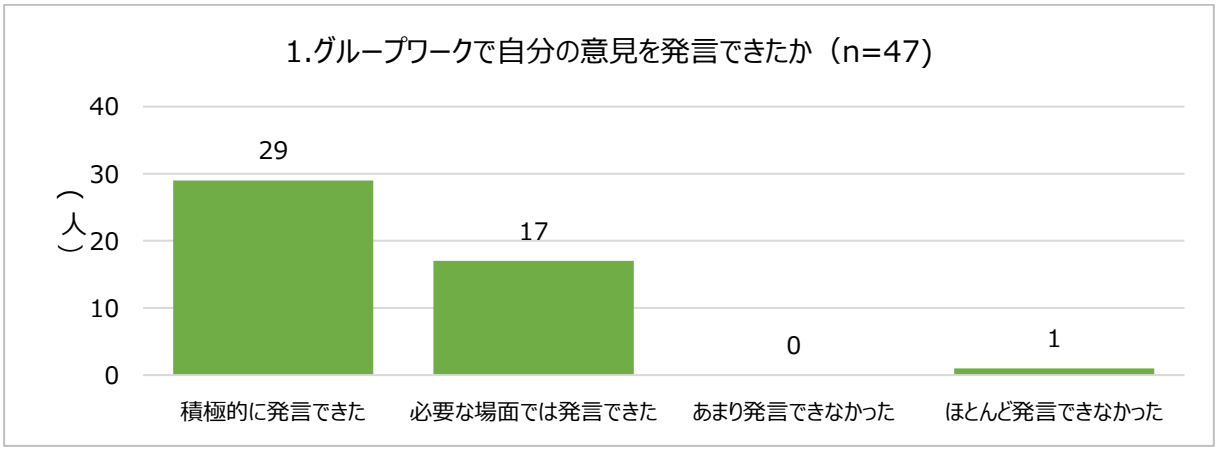
3） 講義内容・構成に関する評価や要望

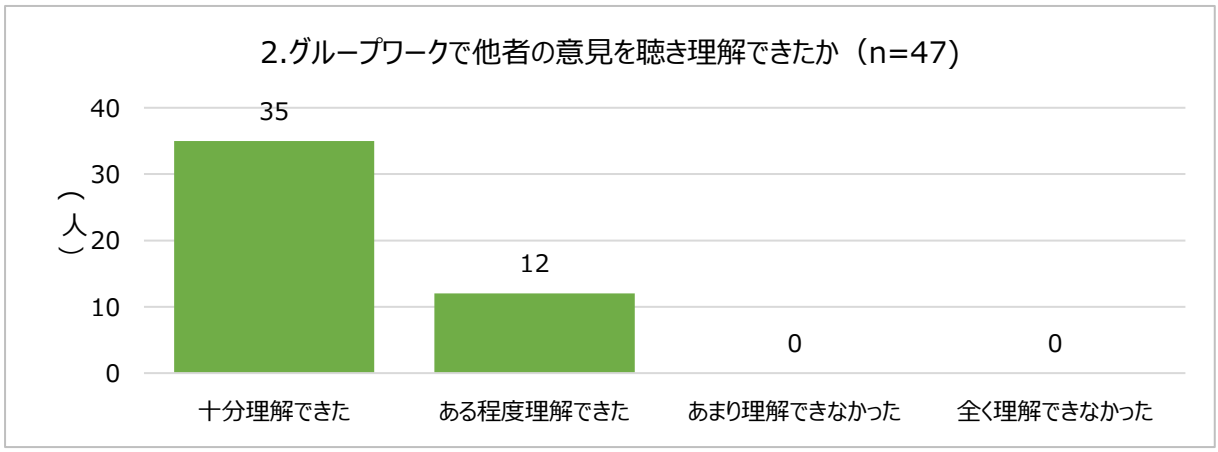
(17) 内容が難しい。

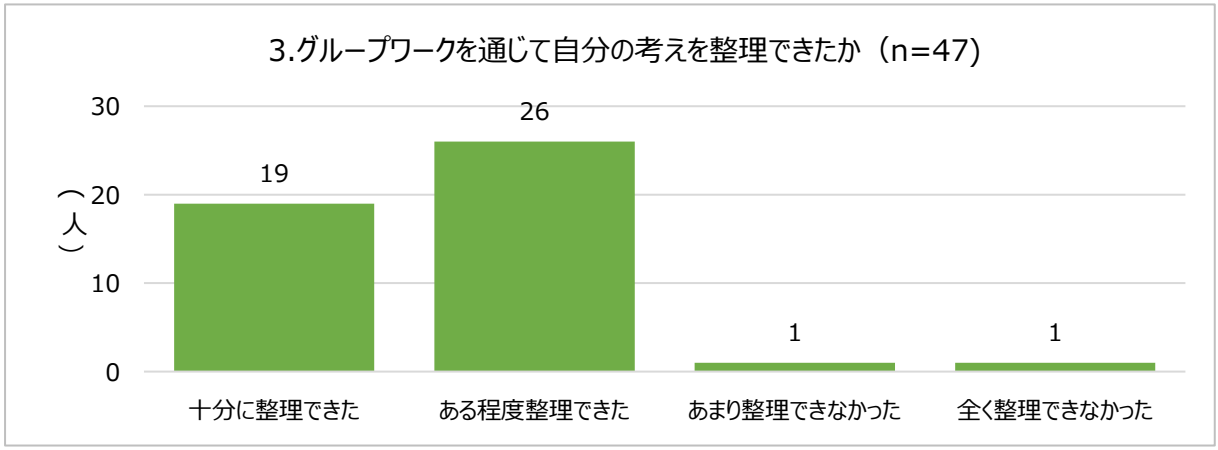
(18) 大変申し訳ないのですが、私の理解力が乏しいため、最終的に、先生がおっしゃりたいことが何なのか、まだ頭の中でまとめられていない状況です。もう少し時間をかけて理解していきたいと思います。ご講義ありがとうございました。

(19) 今までやってきた、学んできた、実践してきた事が全てが否定的であったように感じた。最後に何が言いたいのか“？”であった。質問された方に対しても、お注意されているような印象で残念だった。
(20) 講義の内容が一貫性を感じず何を伝えたいのかが分かりづらかった。
(21) テーマが何だったのか少し分かりづらいところはあったが、面白かった。
(22) 講師の経験内容が主であまり知りたいことではなかった。もう少し、実践に近い内容や医療安全で課題になっていることなどが知りたかったです。

Ⅲ．グループワークについて







4.グループワークについて、ご意見・ご感想

1） 他施設の取り組みや現状の共有・情報交換

(1) 他院の活動内容を具体的に聞けてためになった。

(2) 他の病院の活動内容を知ることができて本当によかったです。またこの機会に、自分達が行っている活動はどうか評価することができました。他の病院のいい所を参考に、当院での今後の活躍に活かせていけたらいいなと思いました。
(3) 他の病院での医療安全の取り組み対策が聞けてよかったです。　インシデントレポート報告の方法、件数伸ばすための工夫など良かった。
(4) 他施設の状況が分かり、アイデアや想いなども聞くことができて参考になりました。
(5) 他施設の課題や取り組み、同じ立場の意見など聞くことができて、有意義だった。
(6) 他施設の良い取り組みがきけました。
(7) 白井市の病院から講義に参加させてもらいました。当院で非常勤で来ていただいてる医師の常勤先の病院の専任看護師さんと医療安全の取り組みから、さまざまな取り組みのことを話し合うことができました。さらに、他の病院の方と情報交換ができ、学びの深い交流になりました。
(8) 他施設の現状や取り組みを聞いて、共感し、参考になった。このような機会があることは有意義だと思う。
(9) 他の施設のなかでの医療安全担当者の役割や業務がわかった。自施設には足りないところがたくさんあることを再認識した。
(10) 色々な施設の方々の話を聞ける機会は、大変ありがたいといつもながらに思いました。
(11) 多施設の現状を聞けて、気づかされたことも多く、参考になりました。
(12) ほかの病院の状況について知ることができます。大変参考になった

2)　悩みや課題の共有・相互理解・励み

(13) 医療安全管理者を拝命してまだ半年であり、毎日これで良いのか迷いながら活動しています。他の施設の活動内容からたくさんヒントをいただきました。同じ立場の方々と話すことで苦労も共有でき、明日からまた頑張ろうという気持ちになれました。
(14) 医療安全管理者の大変さを皆さんで共有できたことで、ポジティブになれました。
(15) 他院の取組を知ることができて大変参考になった。 一人専従で活動していると、時に孤独に苛まれる時があるが、またがんばろうと思えた。
(16) 他施設の取り組み、医療安全担当者としての活動を聞けて、とても参考になりました。普段の悩みや葛藤も話すことができ、有意義な時間になりました。ありがとうございました。
(17) 他施設との意見交換はとても貴重な時間でした。同じ立場からの考え方なので不満も共感できてよかったです。　ありがとうございました。
(18) 同じ悩みや解決してる施設もあったので参考になりました
(19) 他病院の活動を知れたこと、同じ悩みを持っていることがわかった。
(20) 楽しく意見交換が出来ました。 今後の励みになりました。 有難うございました

3)　自施設での実践・改善への活用

(21) 自施設と同じような規模でグループを組む事で同じような悩みを共有、または助言が得られた。しかし、大規模な施設の取り組みも参考にしたいので、混合の機会もあると良いかなと感じた。
(22) 他病院のプラス面マイナス面を聞いて共通する内容もあり、解決策など参考になった。今回の研修内容を持ち帰り自病院で取り入れられる取り組みはないか検討したいと思います。
(23) 大変有意義なグループワークでした。　同規模病院を同じグループに集めていただいたおかげで、悩みや対策の共有ができました。 明日から活用出来そうなことが多く、また名刺交換してつながりができたこともありがたかったです。また来年も参加しますので、今後もぜひ継続をお願いいたします。
(24) 他施設の活動について知ることができ、自施設に取り入れたい内容が多くあり大変役に立った。

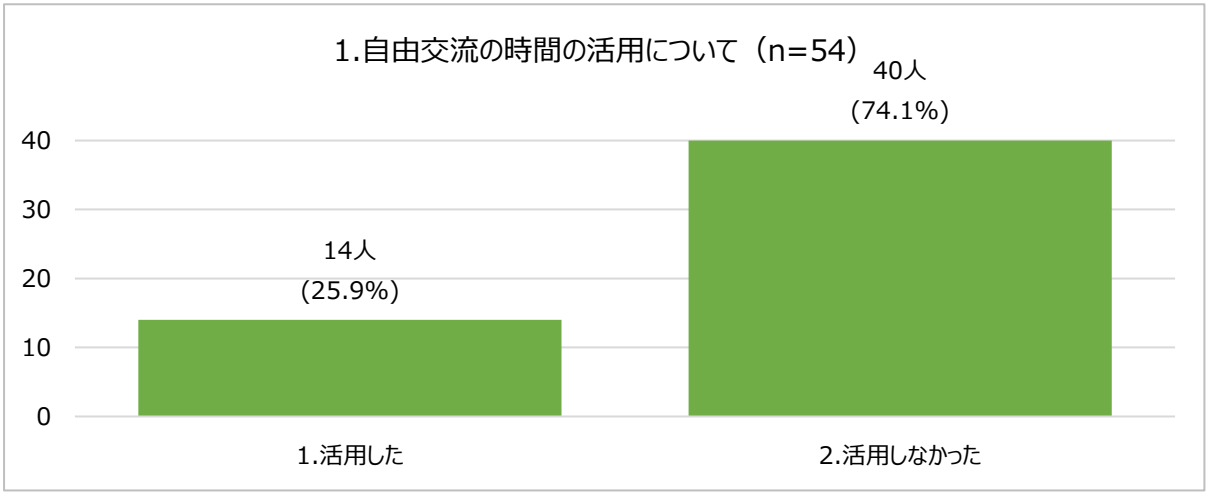
4） グループワーク自体への評価・意見

(25) 昨年度より今年度のグループワークの方が、より実践に結びつく内容であったと思います。大変楽しく意見交換できました。

(26) テーマが病院の医療安全なのか、医療安全部門のことなのか確認せず行なってしまった。

(27) 楽しい時間でした

Ⅳ．交流会について



２．上記回答の理由、自由交流についてのご意見・ご感想があればお聞かせください

1） 自由交流による情報共有・学び・励み

(1) 自由交流で意見を交わすことで、共有できるところ、また、新たな学びになるところありました。

(2) 管理者同じ思いで頑張っていることがわかり、励みになりました。

(3) それぞれの施設で困っていることなど共有できました。

(4) インシデントレポートの評価について意見交換ができた。

(5) 6 人中、私はただの委員としての活動でした。4 人が医療安全管理者で 医療安全管理者としての仕事内容のマニュアルがないためそれぞれに仕事内容の確認（監査に必要な）だったので。

2） 交流の機会・関係づくりに関する意見

(6) 私が残ったのは短時間でしたが、他グループの方ともご挨拶できました。このような場があることは関係性づくりに有意義だと思います。 研修の企画運営をありがとうございました。

(7) 顔見知りの仲ではないので、なかなか声をかけにくかった。災害の後なので、交通手段がなくなるのを恐れ、早めに退室した。

(8) カメラで画像を撮りましたが グループの方々のリストを各々に配布していただけるとありがたいです。

3） 時間の都合による途中退席・参加の難しさ

(9) 夕方からの当施設での会議参加のため、途中退席せざるを得なかったため。

(10) 自由交流したかったのですが、研修終了後にどうしても病院での残務があり、退室しました。

(11) 時間の都合にて。

(12) 残れる時間がなかった。

4） 自由交流の時間設定・必要性に関する意見

(13) ちょうど良い時間だったと思います。

(14) グループワークの時間内に十分話し合う時間が取れたので、研修終了後の時間は特に必要ありませんでした。私のグループは 4 人と少ない人数だったことがその理由かもしれません。もし 4 人ではなく、6 人グループであったら、グループワーク内だけでは時間が足りず、自由交流時間がほしいと思います。

Ⅴ．自由記述

(1) 同じような立場の人同士でワークができたので、大変有意義でした。また、同じような悩みを持っていることもわかり、その共有と、解決策の突破口となりました。
(2) 委員会の活動内容はこれでいいのか、自信がなかったので、他病院の皆様の意見が聞けて本当によい機会となりました。ありがとうございました。
(3) 交流会はじめ、他施設の方とコミュニケーションとることは大切。
(4) 医療安全担当者の顔の見える関係づくりができて良かったです。地区によっては担当者が集まる機会があるようです。千葉市でもそのような会を作りたいですが、どのようにしたら良いのかわかりません。
(5) 講義について。参加者には安全管理者になって日も浅い者も多く理解に苦しむ内容でした。
(6) 医療安全の枠ではないかもしれませんが、他に身体拘束についても医療安全内でなにか講義があれば参加したいと思いました。
(7) ギャラリーウオークを体験してみたかったです。
(8) インシデントレポートの例から再発防止の意見交換。
(9) 当日は繰り返し台風の影響により千葉県内でも交通機関の乱れや災害対応が懸念される状況で、遠方から千葉市内の会場へ向かう者にとっては、無事に到着できるか、また帰路に就けるかどうかが不安要素としてあった。遠方からでも安心して受講できるよう今後はご配慮願います。